

経営比較分析表（令和3年度決算）

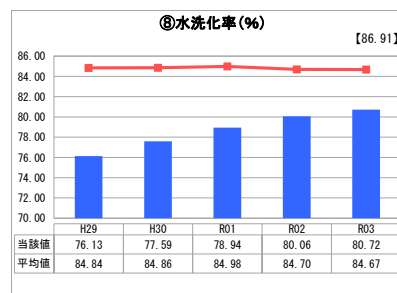
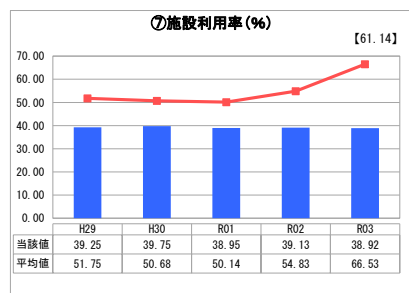
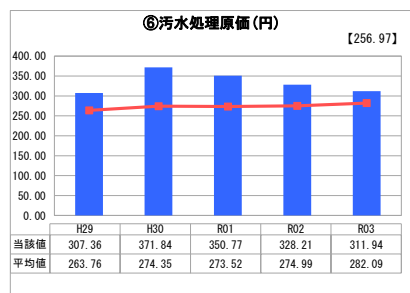
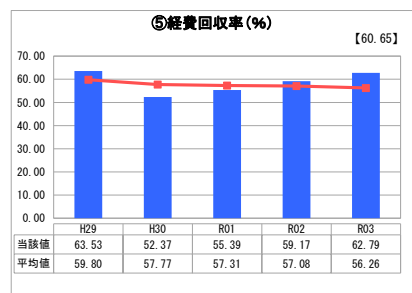
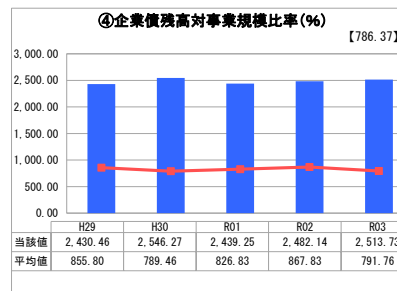
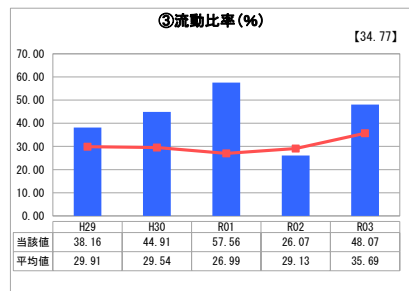
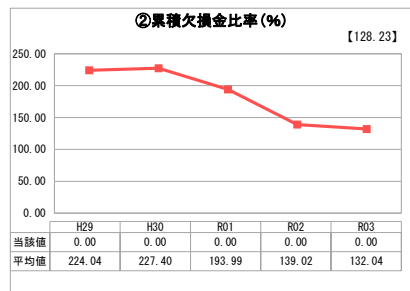
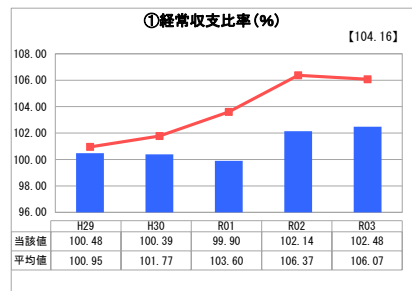
宮城県 美里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	65.30	29.72	93.99	3,740

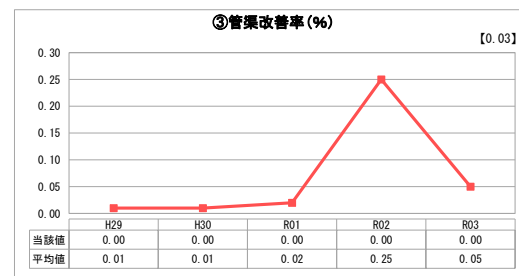
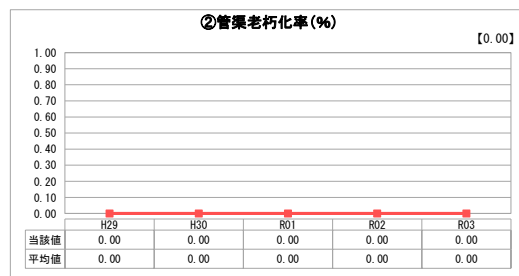
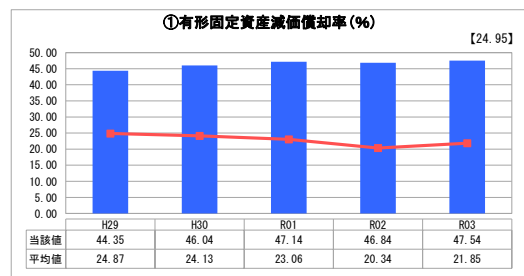
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
23,845	74.99	317.98
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,048	6.73	1,047.25

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ③流動比率について
類似団体平均値及び全国平均を上回っているものの、100%を下回っている。使用料及び一般会計繰入金の見直しを行い、資金不足に陥らないように努める。
- ④企業債残高対事業規模比率について
同規模で推移している。企業債残高は令和5年度がピークで、以後減少する見込みである。
- ⑤経費回収率について
類似団体平均値及び全国平均を上回っているものの、100%を下回っている。使用料の見直しを行い収益の確保に努めるとともに、処理区域の統合及びダウンサイジングについて検討し費用の抑制に努める。
- ⑥汚水処理原価について
類似団体平均値及び全国平均を上回っている。汚水の収集搬送は、真空流送方式を採用しているため、自然流下方式に比べ、コストが高くなっている。
- ⑦施設利用率について
類似団体平均値及び全国平均を下回っている。処理区域の統合及びダウンサイジングの検討を行う。
- ⑧水洗化率について
類似団体平均値及び全国平均を下回っている。未接続者に対しさらなる普及活動に努める。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率について
処理場施設の機器が多くが耐用年数を迎えようとしている。
事業開始から20年以上経過している処理場施設について最適整備構想に基づく機能強化を進めているほか、他の処理場については維持管理に多くの費用を要している状況である。
今後とも計画的に順次更新を進めていかなければならない。

全体総括

短期的な課題としては、流動比率の改善及び水洗化率の向上が挙げられる。
水洗化率の向上及び使用料の見直し等による流動比率の改善が、経営の安定化に繋がり、また、経費回収率等の他の指標の改善も期待できる。
中長期的な課題としては、処理場施設のダウンサイジング及び処理区域の統合が挙げられる。
現在、処理場機器の更新期であり、順次更新を進めているところである。その中で、今後の処理施設の適正規模の整理を行い、経費の削減を前提にダウンサイジング及び処理区域の統合を進めていかなければならない。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。